



大学教育学会課題研究集会
シンポジウム「学士課程教育における共通教育の質保証」
2015年11月29日

サブテーマ 4

共通教育における質保証のためのマネジメント —成果と課題—

鳥居 朋子
立命館大学 教育開発推進機構

はじめに

- ▶ サブテーマ4の研究課題：共通教育における質保証のためのマネジメントの手法を検討(鳥居, 2014)
- ▶ 開発への示唆：PDCAサイクルの中でも、とりわけ各大学が苦心していると見られるCheck(評価)とAction(改善)のティップスに潜在的なニーズ
- ▶ これまでの主な研究成果をふまえながら、実践知のまとめりとしてのマネジメントのティップス(暫定版)を報告

「共通教育における質保証のためのマネジメント」を捉える視点

- ▶ カリキュラムマネジメントの定義の援用
「大学の教育理念(教育目標)を実現するために、教育活動の内容・方法(カリキュラム)上の連関性と条件整備活動(マネジメント)上の協働性の対応関係を、組織構造と組織文化を媒介としながら、P-D-C-Aサイクルを通して組織的、戦略的に動態化していく営み」(中留, 2012, 5)

1-1. 国内外の理論および実践の現状把握

- ▶ カリキュラム開発にかかわるモデル (Diamond, 2008 ; Lattuca & Stark, 2009)、大学の組織文化の類型 (McNay, 1995)
- ▶ 全国調査2014: 「共通教育への積極性」「組織へのコミットメント」「改革志向」といった組織文化の側面の得点が高いほどマネジメントがうまく機能 (岡田・高野, 2015)
- ▶ General Educationの改善のための指針・チェックリスト等 (AAC&U, 2013 & 2015)
- ▶ ⇒ ティップス開発の作業イメージの形成

1-2. 実践的課題の抽出

- ▶ ケーススタディ: 山口大学、名古屋商科大学、大正大学
- ▶ ルーブリックや学生調査等の評価ツールの開発・活用という組織的な取り組み自体が、共通教育の授業担当者を始めとする大学構成員(学生も含む)の教育・学習観の変容を促し、共通教育のマネジメントのあり方に影響を及ぼす要因となり得る(林, 2015; 山田ほか, 印刷中)

1-2. 実践的課題の抽出

- ▶ 文献に基づく事例収集・分析：大学評価・学位授与機構等の認証評価報告書や各大学のウェブサイト、高等教育のマネジメントに関する定期刊行物等に掲載された優良事例
- ▶ 共通教育への積極性という組織文化を醸成・強化し、エビデンスに基づき共通教育の実践を評価できる体制を整えることが、マネジメントを効果的に進める上での鍵に
 - ▶ 全学的なセンター・機構で運営している大学ほど、また、共通教育の領域別の組織がある大学ほど共通教育への積極性が高い(岡田・鳥居, 2015)

1-3. 手法開発の視点の抽出および整理

- ▶ 共通教育の質保証のためのマネジメントに関するアンケート調査(自由記述式):平成26年度AP事業(複合型)の採択校(約20校)、2015年5~6月
 - ▶ 共通教育の目標設定、実施、評価、改善、マネジメント全体について、工夫した点や困難な点、今後の課題等を自由記述で回答
- ▶ 複数大学でのヒアリング調査
- ▶ 他のサブテーマの研究成果から、関連する論点の抽出・整理
- ▶ 共通教育の統括等の経験を持つ上級管理職からのフィードバック

2. 共通教育における質保証のためのマネジメントのティップス開発

- ▶ ティップス(暫定版)のコンセプトと特質
 - ▶ PDCAサイクルに基づいた、共通教育の質保証のためのマネジメントの5つの指針
 - ▶ 各指針にそくしたティップス(複数)
 - 個々のティップスを裏付ける優良事例(複数)等

※別冊資料をご覧ください

図 共通教育の質保証のためのマネジメントのティップス

4-1:授業アンケートなど学生の声を反映させる仕組みを整備する

4-2:成績分布など多角的にデータを収集・分析し、結果を組織的に検討する

4-3:優良実践などを全学的に共有するための場や媒体を設け、教職員の改善意欲を促す

指針4

エビデンスと実践の可視化によって共通教育を改善する

1-1:学士課程教育の目標における共通教育の位置付けを明確に設定する

タイプ1/共通教育の目標を専門教育とは別に設定し、その目標達成や専門教育との連動を図る科目を設置する

タイプ2/共通教育を専門教育の基礎として位置付ける

指針1

学士課程教育における共通教育の目標を明確に設定し共有する

1-2:共通教育の目標および重要性を全学の教員や学生等と共有する

3-1:教育目標に照らして授業内容・学修成果を評価する

3-2:共通教育を通じた学修成果の重層的かつ多面的な評価を行う

共通教育の実施の成果を測る評価ツールを開発し導入する

指針3

共通教育の目標にそくした科目の配置や実践を行う

2-1:教育目標を達成するための科目配置を行い、科目間の関係性を示す

2-2:教職員が教育目標を共有し協働して授業を開発する

指針2

指針5

共通教育のマネジメントサイクルを組織的に回す

5-1:大学の最上層部が共通教育の推進を戦略的に主導し、学部と協働する

5-2:共通教育を全学の教育課題として重視し、実質化するための制度を設ける

5-3:共通教育に関係するすべての部局や事務組織と協働して進める

5-4:組織構造や組織文化の特徴を活かした実施体制やコミュニケーションの方法を採る

到達点および今後の課題

- ▶ ティップス(暫定版)として、ひとまず整理
 - ・可視化されたマネジメントの手法
 - ▶ 有効性の検証
 - ▶ 優良事例の拡充
 - ▶ 実践へのヒントの具体化
 - ▶ 開発手法の高度化
- ▶ 共通教育に固有のマネジメントの条件や課題のさらなる追究
 - ▶ 「学士課程教育」と「共通教育」の関係の整理





ご清聴ありがとうございました。

主な参考文献

- ▶ AAC&U (2013). *Using the VALUE Rubrics for Improvement of Learning and Authentic Assessment*.
- ▶ AAC&U (2015). *General Education Maps and Markers: Designing Meaningful Pathways to Student Achievement*.
- ▶ Diamond, R. (2008). *Designing and Assessing Courses and Curricula Revised Edition*. Jossey-Bass.
- ▶ Lattuca, L., & Stark, J. (2009). *Shaping the College Curriculum: Academic Plans in Context*, second edition, Jossey-Bass.
- ▶ McNay, I. (1995). "From the Collegial Academy to Corporate Enterprise: The Changing Cultures of Universities," In Schuller, T. (ed.). *The Changing University?*. Buckingham: The Society for Research into Higher Education and Open University Press, pp. 105-115.
- ▶ 岡田有司・高野篤子(2015)「共通教育マネジメントにおけるPDCAサイクルとその関連要因—2014年度全国調査の分析結果から」『大学教育学会誌』37(1)、33-38頁。
- ▶ 岡田有司・鳥居朋子(2015)「共通教育マネジメントに関わる組織文化を規定する要因」大学教育学会第37回大会、自由研究発表(部会4)、長崎大学、6月7日。
- ▶ 鳥居朋子(2014)「『共通教育における質保証のためのマネジメント』の研究目的・計画・進捗状況について」『大学教育学会誌』36(1)、75-77頁。
- ▶ 中留武昭(2012)『大学のカリキュラムマネジメント—理論と実際—』東信堂。
- ▶ 林透(2015)「山口大学におけるケース・スタディー—質保証のためのマネジメントに着目して—」『大学教育学会誌』37(1)、45-50頁。
- ▶ 山田礼子・森利枝・亀倉正彦・斎藤有吾・高野篤子(印刷中)「学士課程教育における共通教育の質保証—評価データの併用と質保証のマネジメント—」『大学教育学会誌』37(2)。